

## PRESS RELEASE

2022年2月4日

株式会社インターネットイニシアティブ

### IIJ、「白井データセンターキャンパス」を拡張し2期棟を建設

-- サービス設備拡張とコロケーション需要に対応し、1100ラック規模のファンリティを、来年4月に稼働 --

当社はこのほど、2019年5月より運用しているデータセンター「白井データセンターキャンパス」(千葉県白井市、以下白井DCC)(※)に、2期棟を増設することを決定しましたので、お知らせいたします。

建設スケジュールは、2022年5月に着工、2023年4月からの運用を予定しています。

新たに建設する2期棟は、エリア敷地面積約8,000㎡、最大受電容量10MW(メガワット)、1100ラック規模のキャパシティを有し、国内企業のDX推進に伴い需要が拡大しているIIJのネットワーク関連サービスの設備収容スペースを拡張していくとともに、エンタープライズやクラウドベンダ、コンテンツ事業者、データセンター事業者などの旺盛なコロケーション需要に対応いたします。また、自動化の適用領域を拡大し、運用効率のさらなる向上を図るとともに、メガソーラ発電設備を併設するなど、カーボンニュートラルへの取り組みも推進してまいります。

(※) 2019年4月10日付報道発表資料:「IIJ、最新省エネ技術・AIを採用した「白井データセンターキャンパス」が完成」  
<https://www.ij.ad.jp/news/pressrelease/2019/0410.html>

#### 背景

白井DCCは、最新省エネ技術やAI、ロボットによる運用自動化など新技術を積極的に採用し、デジタルトランスフォーメーション(DX)、AIやIoTの本格普及による大規模なデジタルデータ処理のニーズに対応できるデータセンターとして、2019年5月に1期棟の稼働を開始しました。

白井DCCは、IIJが提供するクラウドやネットワークサービスの集約拠点としても活用しており、それらのIIJサービスとの親和性や、省エネや自動化などの新しい取り組みが評価され、サービス事業者やエンタープライズのコロケーションやハウジングの受注が堅調に増加しています。また、昨今の国内企業におけるICT利用拡大を受けてIIJサービスの利用も増加し、サービス設備を収容するファンリティとしてのDC活用も大きくなっています。今後もコロケーション需要およびIIJサービスの設備の拡大が予想され、1期棟(約700ラック)は2022年度中に満床となる見込みであることから、当社は白井DCCを拡張し、2期棟を建設することといたしました。

#### 2期棟 設備概要

エリア敷地面積	約8,000㎡(白井DCC全体敷地面積 約40,000㎡)
設備収容	約1,100ラック
空調方式	直接外気冷却方式
電気設備	三相4線式UPS
受電容量	10MW(メガワット)

#### 主な特徴

2期棟では、1期棟で導入した自動化や省エネ技術を発展的に継承し、適用領域を拡張してまいります。

#### -最新の省エネ技術/設備の採用

空調設備には消費電力を削減する「外気冷却空調方式」および効率的に空調搬送できる「壁吹き出し空調」を採用しています。電気設備は三相4線式UPSを採用し、200Vを効率的に給電するとともに、リチウムイオン蓄電池を活用した空調電力のピークカット、ピークシフトによる電力需要の平準化も進めてまいります。

#### -ロボットによる自動化の推進

データセンターの設備巡回には地上走行ロボットに加えて、ドローンを利用した巡回の実証を進めてまいります。さらに、RPA(Robotic Process Automation)/RBA(Run Book Automation)基盤による業務自動化に加えて、入館業務の無人化など、ロボットによるデータセンター運用業務のさらなる自動化を推進します。

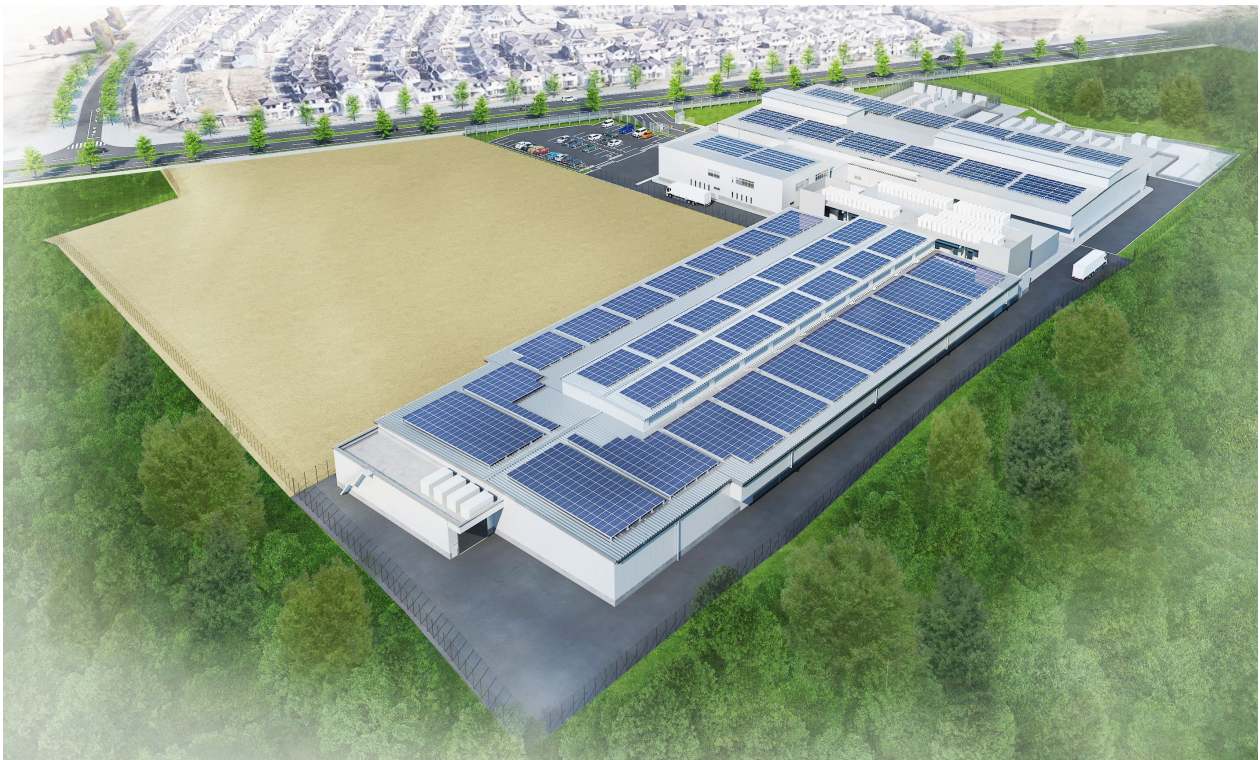
#### -カーボンニュートラルへの取り組みを推進

大量の電力を消費するデータセンターにとって、カーボンニュートラル化の対応は喫緊の課題であり、今後は、オンサイトメガソーラー発電設備の併設や、オフサイトの発電設備からの電力調達など、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを推進してまいります。

#### -ネットワークサービスとの高い親和性

IIJの各種ネットワークサービス、クラウドサービス設備と直結できることに加えて、2022年3月にはインターネットエクスチェンジ(IX)サービスであるJPNAP東京サービスの提供拠点が白井DCCに設置されることから、国内外のコンテンツ事業者やインターネット接続事業者との相互接続も実現します。白井DCCのある印西地区は建設ラッシュが続くデータセンターの集積地として注目されており、各種クラウドサービス、近郊データセンター等と接続するネットワークのHUB拠点としてもご利用いただけます。

## 2期棟イメージ



IIJでは今後も、高品質なデータセンターファシリティと付加価値の高いネットワークサービスで、国内外において安定したインフラ基盤を提供してまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail:press@ij.ad.jp <https://www.ij.ad.jp/>

※本ニュースリリースに記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。